

月別概況（令和元（平成31）年）青果

1月

野菜

1kg当たり平均単価 226円

暖冬の影響により順調な出回り、鍋需要も振るわず荷動き悪く、昨年が高値で推移したことから厳しい販売となる。

果実

1kg当たり平均単価 311円

昨年在庫も少なく天候等にも助けられたことにより、一部の品目を除きまずまずの販売で終了。

全般的にはりんごの下位等級、表年であるみかんの数量増により入荷量2割アップ単価1割安で終了

2月

野菜

1kg当たり平均単価 209円

暖冬により冬野菜順調な出回り、安定入荷が続く荷動き悪く販売に苦戦した。

果実

1kg当たり平均単価 316円

全般に一部の品目を除き入荷増で推移。昨年のような大きな天候変化もなく、若干安値推移したものの動きはまずまずであり、入荷増の単価安で終了。

3月

野菜

1kg当たり平均単価 205円

重量物の相場低迷により価格は前年を下回る。

果実

1kg当たり平均単価 349円

天候等にも恵まれ彼岸需要なども重なり順調。全般に主要品目は入荷減であった為に、引き合い強く単価高で終了。

4月

野菜

1kg当たり平均単価 203円

冬野菜の終了。春野菜は干ばつ傾向で、生育期の遅れもあったが順調な出回りにより出荷量増加、価格は昨年並で推移する。

果実

1kg当たり平均単価 359円

みかんは早期終了。また林檎等の単価安により前年を若干下回る数字であり全般的には入荷減、単価安前年並で終了。

5月

野菜

1kg当たり平均単価 212円

高温干ばつの影響により入荷減で、価格は平年並みに推移する。

果実

1kg当たり平均単価 381円

大型連休なども重なり、また気候の変動に左右され入荷減にもかかわらず、単価の伸び悩んだ物が多く、終始販売苦戦で推移。全般に入荷減の単価安と不本意な数字で終了。

6月

野菜

1kg当たり平均単価 227円

梅雨入り遅く干ばつ傾向で、一部品薄の品目も有り順調な出回りで、価格は前年並で推移する。

果実

1kg当たり平均単価 358円

春先の低温等により、品目によっては若干遅延気味で推移。また梅雨入りが遅れたことにより販売環境は良かったものの、全般的には入荷減の単価前年並で終了。

7月

野菜

1kg当たり平均単価 237円

長雨・日照不足の影響により、単価は昨年より安価で推移する。

果実

1kg当たり平均単価 394円

梅雨入りが遅かったものの、曇天の日が多く、その為日照不足も重なり、小玉傾向・着色不良の品物もありスムーズな販売とまではいかなかった。全般的に入荷減の単価ほぼ前年並で推移。

8月

野菜

1kg当たり平均単価 249円

天候不順・台風10号の影響もありましたが、昨年度の高価格により価格は昨年を下回った。

果実

1kg当たり平均単価 378円

春先の低温等の影響により全体的に遅延気味に推移。しかし需要期に集中した品目も有り、台風の影響も懸念されたが順調に推移したことにより、全般に入荷前年並単価高で推移。

9月

野菜

1kg当たり平均単価 241円

昨年度西日本豪雨の影響で価格は高値推移。本年度台風15号、17号の影響もあったが価格は昨年の90%で推移した。

果実

1kg当たり平均単価 374円

昨年と違い台風等の影響もなく、一部の品目を除いて前年並みの入荷量で推移。しかし単価面においては等階級等の問題もあり、若干安価推移で終了。

10月

野菜

1kg当たり平均単価 217円

台風集中・豪雨等もあったが、全般的に荷動きが悪く、価格は昨年を大きく下回った。

果実

1kg当たり平均単価 276円

全般に主要品目入荷減少に関わらず、他の競合品目の入荷増に助けられたかたちとなり、動きは鈍かったものの、入荷・単価共にほぼ前年並で終了。

11月

野菜

1kg当たり平均単価 219円

台風などの影響で、関東地区への引き合いもあるが温度が高く生育順調で価格で前年並に推移する。

果実

1kg当たり平均単価 234円

気温が高く推移したことにより、みかん・柿などは着色遅れ目立ち、終始苦戦気味の展開。

りんごに関しては長野産が少ないことから、青森産にシフトしたことにより前年並みの単価推移。

量的には若干多し。全般には数量価格ともに前年並。

12月

野菜

1kg当たり平均単価 211円

暖冬の影響により生育順調で、鍋需要も少なく、荷動き悪く厳しい販売となる。

果実

1kg当たり平均単価 306円

暖冬等の影響により、棚持ち悪い品目もあり、また消費の動きも鈍く天候には恵まれたものの、全般には入荷減の単価安で終了。